

# 冬の智積院（京都市東山区）を拝観

## おたべや京バームの工場見学も

「令和8年度バス見学会」1月22日（木）

山崎副会長から「おはようございます。会員の皆さんは寒い中ご参加いただきありがとうございます。ごさいます。サンケイツアーの間瀬様、運転手の竹岡様よろしくお願ひ致します」と挨拶があり、京都東山区の真言宗智山派総本山、智積院に向かいました。

この寺は安土桃山時代に豊臣秀吉が淀君との第一子をうけた時に、その冥福を祈り建立された祥雲寺があった所へ、慶長6年に、徳川家康から

寺地をもらい建立されたもので、総門、大書院は江戸時代のもの。「名勝庭園」は本堂とは別棟で建物を囲み周り廊下になっており、そこから眺める池と四季の木立のコーボは計算された庭園でした。又各部屋には、見事な襦袢が、色鮮やかな迫力のあるものから、山水画、墨絵などが駆使されたもので、数人の画伯が手掛けられたものだと

併設されている宝物館には長谷川等伯、久蔵親子、長谷川一門により手掛けられた国宝とされる

壁画や仏像が展示されております。残念ながら天和2年（1682年）と昭和22年（1947年）に起った大火災や盗難で多くが失われたとの事、しかしその度に再建され残された障壁画は多くの方の努力により現在に至っております。

その後、智積院の施設内にある茶寮「桔梗」で精進料理をいただきました。

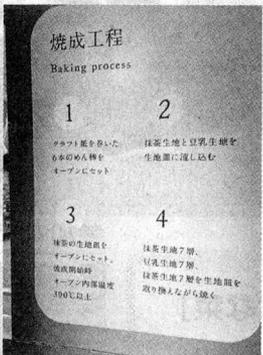
壁面やおしゃれな店内、2階は工場で、次々焼上げられ、熟成され、コーティングされていく大きな抹茶とクリームのある二層のバームクーヘンに甘い香りと共にくぎ付けです。3階はカフェになっており、明るく開放感のある室内で、クッシュヨンやアイス、食器のいたるまで、抹茶とクリーム色の統一されておりました。

### 大起水産で試食も

次に大起水産・伏見店に伺いました。店内で「京まぐろ」のお刺身を試食させて頂き、思わず全員「美味しい！」と声が出ました。参加者34名



参加者一同で記念撮影



（右上）京バームの焼成工程  
（左上）おたべの工場内、「桔梗」  
（左下）茶寮での昼食